

第八次

宮崎県森林・林業長期計画

～持続可能なみやざきの森林・林業・木材産業の確立～

概要版



計画策定の趣旨

森林の有する多面的機能を持続的に発揮させる多様な森林づくりを進めるとともに、新たな技術の活用などの林業イノベーションの取組を通じて、収益性の向上を図り、林業生産活動や木材製品等の供給を持続的に行うことができる林業・木材産業の確立を目指します。

計画期間 令和3年度～12年度

情勢の変化

- 人口減少社会の到来
- 脱炭素社会の構築
- 持続可能な開発目標 (SDGs) との関わり
- 多発・激甚化する自然災害
- 法律の制定等の新たな動き
- 合法伐採の推進
- 木材の需要等の変化
- 新型コロナウイルス感染症の影響

森林・林業・木材産業の現状と課題

現状

- 森林資源の充実
- 手入れが行き届かない森林の増加
- 無断伐採等の発生、森林資源の奥地化
- 大径材の増加、住宅需要の減少
- 林業担い手の減少・高齢化、労働者不足

課題

- 森林資源の適切な管理
- 森林経営管理制度の推進
- 持続的な原木供給体制の整備
- 加工流通体制の効率化及び木材需要の拡大
- 新規就業者の確保・育成、林業労働災害の防止

森林・林業・木材産業に期待される役割

森林

- 木材等林産物の供給
- 安全で快適な生活環境の保全
- 豊かな自然環境や生物多様性の保全
- 地球温暖化の緩和への貢献

林業・木材産業

- 木製材品等の供給
- 地域経済の活性化
- 脱炭素社会の実現への貢献

持続可能な開発目標 (SDGs) への貢献

目指す姿

森 林

- 木材等林産物の供給や水源の涵養など、森林の有する多面的機能の持続的発揮
- 森林資源の着実な循環利用による齢級や樹種の構成などバランスのとれた森林

林 業

- スマート林業や森林施業の省力化等による林業の採算性の向上
- 林業担い手の確保、森林産業の創出による活力ある山村地域

木材産業

- 木材の加工・流通の合理化及び品質・性能の確かな木製材品等の安定的な供給
- 住宅や公共建築物、エネルギー利用など、多様な分野における木材利用



[基本目標]

「持続可能なみやぎの森林・林業・木材産業の確立」

～多様な森林^{もり}づくりとイノベーションを通じて～

素材生産量：190万³m 再造林面積：2,200ha（再造林率：80%）

基本計画



多面的機能を持続的に 発揮する豊かな森林 づくり

- 適切な森林管理の推進
- 資源循環型の森林づくりの推進
- 安全・安心な森林づくりの推進



持続可能な林業・木材 産業づくり

- 効率的な林業経営と原木供給体制の確立
- 木材産業の競争力強化
- 県産材の需要拡大の推進
- 特用林産の振興
- 研究・技術開発及び普及指導



森林・林業・木材産業 を担う地域・人づくり

- 山村地域の振興・活性化
- 林業・木材産業を支える担い手の確保・育成
- 森林を育み、支える人づくり



重点プロジェクト

林業イノベーション プロジェクト

- 再造林の効率化・省力化
- スマート林業の推進

木材産業サプライチェーン 構築プロジェクト

- 木材の生産・加工・流通改革
- 新たな木材需要の開拓

担い手確保・育成 プロジェクト

- 多様な担い手の確保・育成

地域計画

中部地域

南那珂
地域

北諸県
地域

西諸県
地域

児湯地域

東臼杵
地域

西臼杵
地域



1 素材生産量と再造林面積（率）

本計画では新設住宅着工戸数の将来予想と需要減少抑制策等をもとに本県の製材品出荷量を推計し、10年後の素材生産量の目標を190万 m^3 としました。

また、本県民有林において従来から目標としてきた再造林率80%を基本とし、将来の森林資源を試算しました。

現況（令和元年度）		将来目標（令和12年度）	
素材生産量（万 m^3 ）	199	素材生産量（万 m^3 ）	190
再造林面積（ha）	2,134	再造林面積（ha）	2,200



2 森林資源量予測シミュレーション

1 シミュレーションの条件と手法

a 対象森林（次表赤枠内）

○以下の条件から民有人工林面積の85%相当を対象森林とし、残りの15%では伐採及び造林は行われないものと仮定

- ・地位級:1又は2
- ・地利級:500m未満となる区域
- ・林業の作業が難しいとされる傾斜40度以上を除く

地位級 \ 地利級	200m未満	200～500m未満	500m以上
1	1等地	1等地	2等地
2	1等地	2等地	3等地
3	2等地	3等地	3等地

※1 地域森林計画の「木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林」のうち、林木の生育に適し、路網の整備状況から効率的な森林施業が可能で木材生産機能が高い森林であり、森林毎の地利級と地位級によって区分された、1等地と2等地に該当する森林の区域

b 対象伐採材積（民有林スギ・ヒノキ主伐材積）

○以下の手法から143万4千 m^3 /年と推計

- ・素材生産量に、輸出用丸太や木質バイオマスを加える
 $190\text{万}\text{m}^3 + 40\text{万}\text{m}^3 = 230\text{万}\text{m}^3 \rightarrow 260\text{万}\text{m}^3$ （立木換算）
- ・国有林伐採材積、民有林間伐材積等を除く
 $260\text{万}\text{m}^3 - 116\text{万}6\text{千}\text{m}^3 = 143\text{万}4\text{千}\text{m}^3/\text{年}$

c 再造林率

○80%を基本にその前後(70%、90%)を加えた3とおりで試算

以上の条件からスギ・ヒノキ人工林において、計画始期から100年の間、素材生産と再造林を継続的に行うこととし、8齢級以上の伐採可能な資源量を予測しました。



2 シミュレーションの結果

シミュレーション対象区域(85%)におけるスギ・ヒノキ資源量(8齢級以上)の減少速度の比較

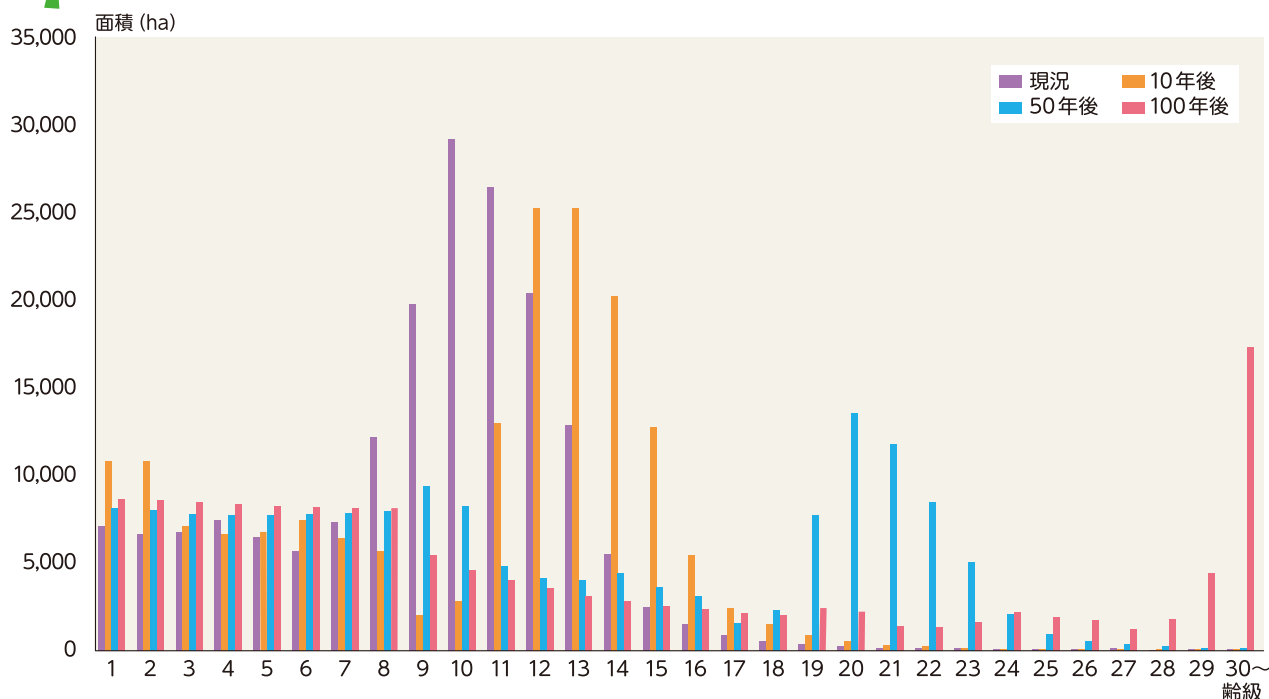
(伐採材積: 1,434 千m³/年)



8齢級以上の伐採可能な資源量は、いずれの再造林率においても10年後に4%減少し、再造林率70%で20年後、再造林率80%及び90%では25年後に10%減少します。

それ以降も、伐採可能な資源量は徐々に減少し、100年後には、再造林率70%で資源量は50%減少、再造林率80%で資源量は40%減少、再造林率90%で資源量は30%減少する結果となり、再造林の重要性が改めて確認されました。

3 将来の民有人工林の資源の見通し



10齢級前後(41年～60年生)に著しい偏りがみられる現況の年齢構成は、伐採と80%の再造林が進むことで、100年後には概ね8齢級以下で平準化が図られることが見込まれます。

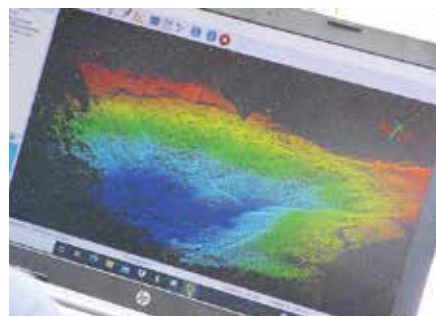


森林計画制度等に基づきICT技術の積極的な活用による効率的で適切な管理に努め、多様な樹種や齢級で構成された、多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくりを推進します。

1 適切な森林管理の推進

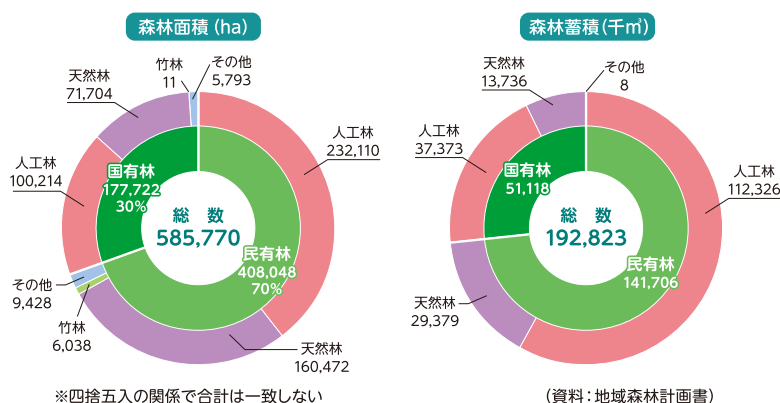
具体的な施策

- ① 森林計画制度に即した適正な森林の整備・保全
- ② ICT等を活用した森林関連情報の整備
- ③ 齢級構成の平準化
- ④ 公的関与による森林管理
- ⑤ 多様で豊かな森林づくりの推進



森林のデジタル画像

【森林資源の現状】（森林法第2条に規定する森林、令和2年3月31日現在）



多様な森林づくり

主な指標

項目	現況値 令和元年度	目標値	
		令和7年度	令和12年度
森林経営計画作成率(%)	44.1	49.0	53.0
ICTを活用した森林管理・調査に取り組む事業体数(者)	11	25	40
森林経営管理制度における意向調査実施累計面積(ha)	1,751	32,300	68,200
広葉樹・早生樹造林面積(ha)	319	350	400

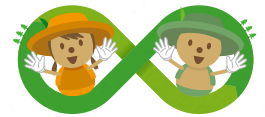
2 資源循環型の森林づくりの推進

具体的な施策

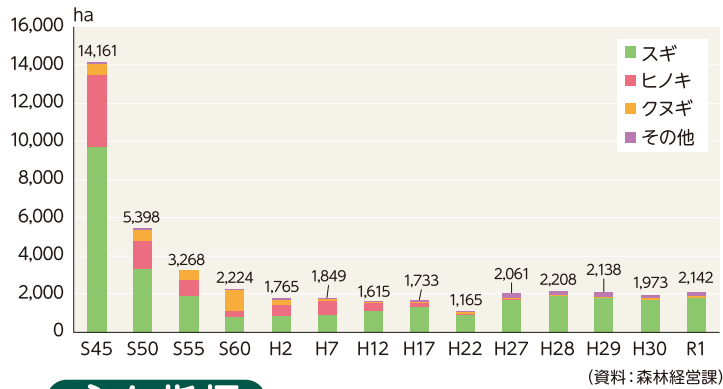
- ① 適切な再造林の推進とコストの低減
- ② 適切な間伐の推進
- ③ 優良な苗木の生産拡大
- ④ 効率的で災害に強い路網の整備
- ⑤ 野生鳥獣被害防止対策の推進
- ⑥ 再生利用が困難な荒廃農地等の森林としての活用



造林用(下刈り)機械



【造林実績】



林道整備

主な指標

項 目	現況値 令和元年度	目標値	
		令和7年度	令和12年度
再造林面積 (ha)	2,134	2,200	2,200
内数：造林と伐採の連携による再造林面積 (ha)	296	400	500
間伐実施面積 (ha)	2,606	6,000	6,000
スギ苗木生産量 (万本)	568	640	700
内数：コンテナ苗木生産量 (万本)	146	240	300
内数：エリートツリー由来の苗木生産量 (万本)	0	50	100
林内路網密度 (m/ha)	38.7	39.7	40.6
シカ推定生息数 (頭)	(平成30年度) 101,000	65,000	47,000
シカ捕獲数 (頭)	(平成30年度) 28,932	18,000	14,000

3 安全・安心な森林づくりの推進

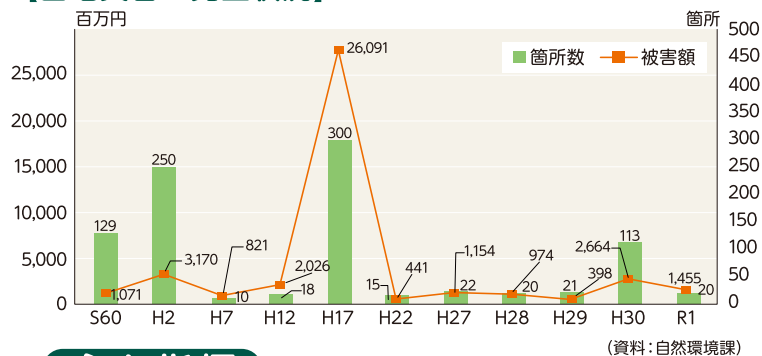
具体的な施策

- ① 林地の保全と保安林の適切な管理
- ② 山地災害の防止と復旧対策の推進
- ③ 風倒木・流木対策の推進
- ④ 林野火災防止対策の推進
- ⑤ 森林病虫害対策等の推進



海岸保安林 (フェニックス・シーガイア・リゾート提供)

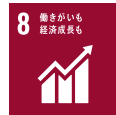
【山地災害の発生状況】



治山施設 (スリットダム)

主な指標

項 目	現況値 令和元年度	目標値	
		令和7年度	令和12年度
保安林指定率 (%)	29.9	31.9	33.6
山地災害危険地区の着手箇所数 (箇所)	2,557	2,655	2,737
重要インフラ施設周辺森林整備の協定締結累計件数 (件)	0	50	100



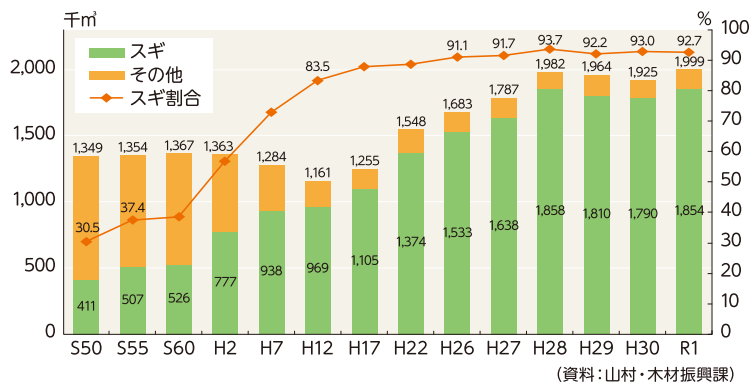
効率的な林業経営の推進や林業事業者の育成、製品の安定供給のほか、消費者に選ばれる産地・製品づくりの推進や特用林産物の販路拡大、普及指導等に取り組み、持続可能な林業・木材産業づくりを推進します。

1 効率的な林業経営と原木供給体制の確立

具体的な施策

- ① 施業集約等による効率的な林業経営の推進
- ② 経営感覚に優れた林業事業者の育成
- ③ 持続可能な原木供給体制の確立
- ④ 効率的な機械化の推進

【素材生産の推移】



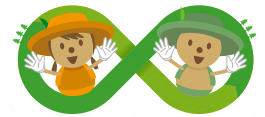
原木市場



素材生産

主な指標

項 目	現況値 令和元年度	目標値	
		令和7年度	令和12年度
素材生産量 (千m³)	1,999	1,900	1,900
内数：ひなたのチカラ林業経営者素材生産量 (千m³)	1,153	1,379	1,624
林業イノベーションに取り組む事業者数 (者)	22	45	60
林業産出額 (億円)	(平成30年) 291	291	292

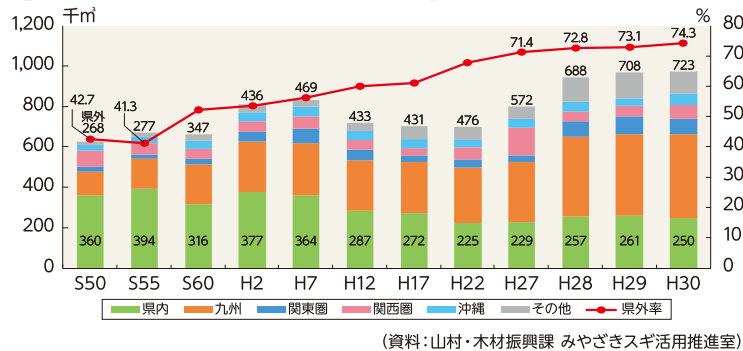


2 木材産業の競争力強化

具体的な施策

- ① 木材加工・流通ネットワークの構築
- ② 高品質・効率的かつ大径材加工に対応した生産体制の構築
- ③ 木質バイオマス活用の推進
- ④ 新たな木材需要創出に向けた取組の推進

【製材品出荷先別出荷量の推移】



木材乾燥施設



大径材加工施設

主な指標

項 目	現況値 令和元年度	目標値	
		令和7年度	令和12年度
製材品出荷量 (千m³)	(令和元年) 955	920	920
製材品の全国シェア (%)	10.6	11.6	13.0
人工乾燥材生産量 (千m³)	(令和元年) 466	466	494
人工乾燥材率 (%)	58.0	60.5	64.2

3 県産材の需要拡大の推進

具体的な施策

- ① 消費者に選ばれる産地・製品づくりの推進
- ② リフォームなど住宅産業等との連携の促進
- ③ 公共建築物・非住宅・土木分野等への利用拡大
- ④ 県産材の輸出促進
- ⑤ 木づくり運動の推進



住宅のリフォーム



公共建築物の木造化



海外での展示会

主な指標

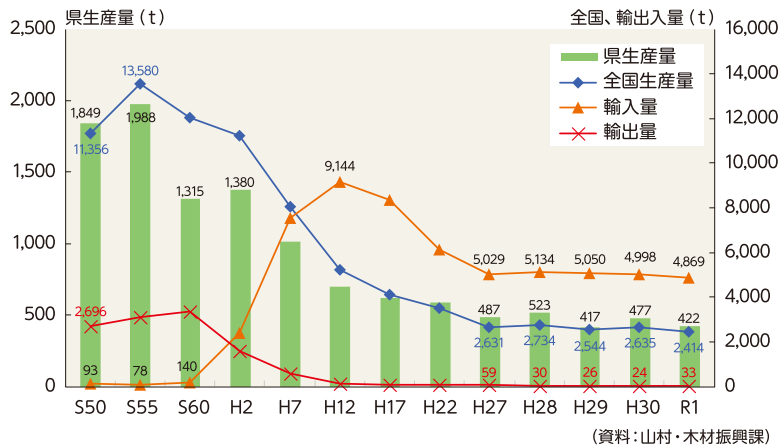
項 目	現況値 令和元年度	目標値	
		令和7年度	令和12年度
製材品出荷量 (千m³) 再掲	955	920	920
公共建築物における木造率 (%)	24.7	30.0	35.0
木材輸出額 (百万円)	4,641	4,880	5,017
内数: 県産材の製品出荷額 (百万円)	206	380	517

4 特用林産の振興

具体的な施策

- ① 特用林産物の生産振興
- ② 特用林産物の消費・販路拡大
- ③ 新たな特用林産物の商品化

【乾しいたけ生産量等の推移】



しいたけほだ場



木炭生産

主な指標

項 目	現況値 令和元年度	目標値	
		令和7年度	令和12年度
乾しいたけ生産量 (t)	(令和元年) 422	480	505
生しいたけ生産量 (t)	(令和元年) 3,101	3,190	3,220
木炭生産量 (t)	(令和元年) 263	306	342
特用林産物の認証取得件数 (有機 JAS、GAP 等) (件)	4	10	15

5 研究・技術開発及び普及指導

具体的な施策

- ① 林業・木材加工試験研究と技術移転の推進
- ② 異業種との連携促進による木材の新たな分野への利用推進
- ③ 地域に密着した普及指導の展開



従来の苗木

エリートツリー



耐力壁強度試験



林業座談会

主な指標

項 目		現況値 令和元年度	目標値	
			令和7年度	令和12年度
研究成果の移転 累計件数 (件)	林業技術センター	88	100	110
	木材利用技術センター	72	90	105



定住環境の整備や地域資源を活用した商品づくり、都市との交流促進等による地域の所得向上を図るとともに、県民の財産である森林と山村地域の基幹産業である林業や木材産業を守り・支える人材の確保・育成を進めます。

1 山村地域の振興・活性化

具体的な施策

- ① 定住環境の整備
- ② 地域の森林の適切な保安全管理
- ③ 森林資源の活用による就業機会の創出と所得確保
- ④ 都市と山村の交流促進



農地を守る防護柵



森林セラピー



自然公園（環境省えびの管理官事務所提供）

主な指標

項目	現況値 令和元年度	目標値	
		令和7年度	令和12年度
山地災害危険地区の着手箇所数(箇所)再掲	2,557	2,655	2,737
県外からの林業・特用林産業新規就業者数(人)	18	23	23
自然公園利用者数(千人)	(平成30年度) 9,289	9,300	9,300

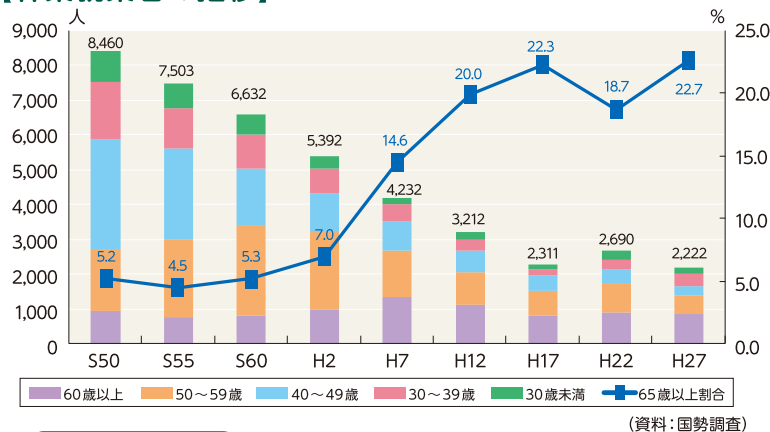


2 林業・木材産業を支える担い手の確保・育成

具体的な施策

- ① 新規就業者の確保・育成
- ② 林業・木材産業のリーダーの育成
- ③ 就労環境の改善
- ④ 林業労働安全衛生の確保

【林業就業者の推移】



(資料: 国勢調査)



みやざき林業大学校 長期課程実習



労働安全講習会

主な指標

項 目	現況値 令和元年度	目標値	
		令和7年度	令和12年度
みやざき林業大学校研修受講者累計数(人)	463	2,863	4,863
内数: 長期課程研修受講者累計数(人)	21	111	186
林業就業者数(人)	(平成27年) 2,222	2,100	2,000
新規林業就業者数(人)	211	150	150
労働安全研修受講者数(人)	150	200	250

3 もり 森林を育み、支える人づくり

具体的な施策

- ① 多様な主体による森林づくり活動の促進
- ② 森林環境教育の推進
- ③ 木育の推進



企業の森林づくり



森林環境教育

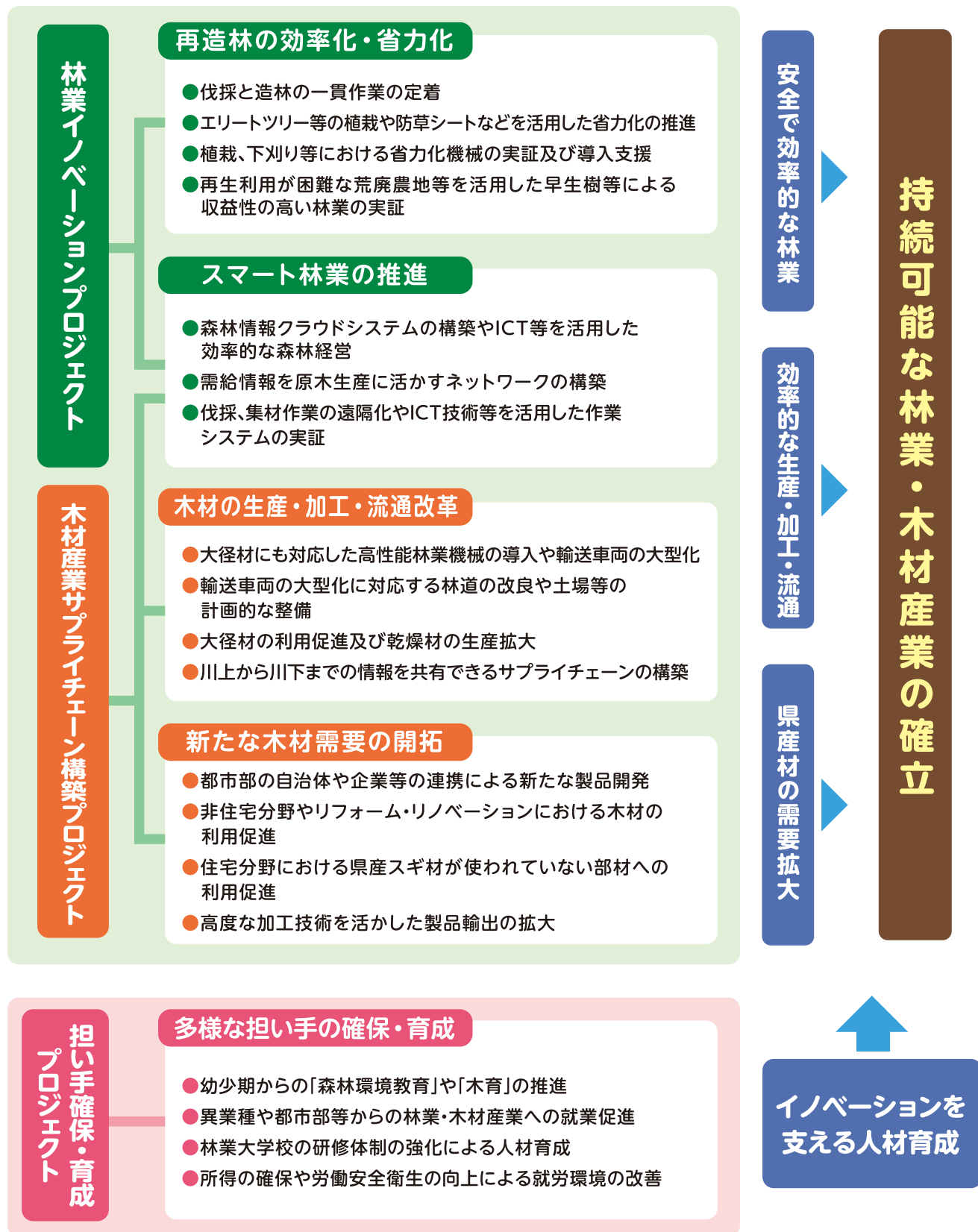


木育活動

主な指標

項 目	現況値 令和元年度	目標値	
		令和7年度	令和12年度
森林ボランティア参加団体数(団体)	206	230	250
企業による森林整備・保全協定面積(累計)(ha)	378	429	472
森林環境教育参加者数(人)	10,090	14,160	18,230
木育活動参加者数(人)	2,416	3,846	5,000

低い労働生産性や高い労働災害発生率などの林業特有の課題の解決や木材の生産・加工・流通における効率化、県産材の需要拡大を図るとともに、それらを支える多様な人材の確保・育成を目指すため、3つのプロジェクトに取り組みます。



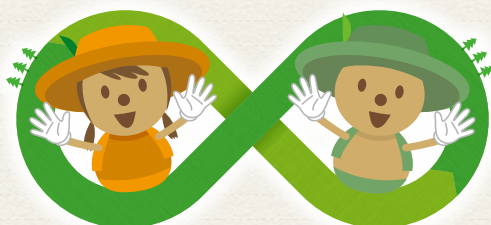


地域	重点的取組	指標			
		項目	現況値	目標値	
			R元年度	R7年度	R12年度
中部地域	①適正な伐採と速やかな再生林の推進 ②森林経営管理制度の推進 ③多様な主体による森林づくりの推進	①再生林面積(ha)	(114) 125	140	140
		②スギ苗木生産量(万本)	310	364	364
		③森林経営管理制度における意向調査実施累計面積(事前調査を含む)(ha)	47	3,700	6,300
		④企業や森林ボランティアによる森林整備面積(ha)	178	187	195
南那珂地域	①適正な森林整備の推進 ②林業イノベーションの推進 ③生産・加工・流通体制の整備と木材の需要拡大	①再生林面積(ha)	(375) 401	397	397
		②スギコンテナ苗木生産量(万本)	3	18	28
		③ドローン等による森林調査面積(ha)	232	300	350
		④製材品出荷量(千m ³)	(R元年) 167	160	160
北諸県地域	①持続可能な林業の確立に向けた再生林の推進 ②ニーズに応じた製材品等の加工体制の整備と需要拡大 ③生しいたけ生産量の増大	①再生林面積(ha)	(211) 231	230	230
		②スギコンテナ苗木生産量(万本)	18	50	70
		③製材品出荷量(千m ³)	(R元年) 355	340	340
		④生しいたけ生産量(t)	2,510	2,582	2,606
西諸県地域	①森林資源の循環利用の推進 ②自然の恵みを身近に感じる共生の森づくりの推進 ③森林経営管理制度の推進等による適正な森林整備	①再生林面積(ha)	(111) 142	128	128
		②「ひなもり台県民ふれあいの森」利用者数(人)	86,126	90,000	100,000
		③シカ捕獲数(頭)	(H30年度) 6,439	3,600	2,800
		④経営管理権の設定累計面積(ha)	0	15	30
児湯地域	①再生林の推進と木材の低コスト生産体制の整備 ②地域林業を支える担い手の確保・育成 ③鳥獣被害防止対策の推進	①再生林面積(ha)	(193) 196	222	222
		②林内路網密度(m/ha)	30.4	31.0	32.0
		③新規林業就業者数(人)	(28) 45	13	13
		④シカ捕獲数(頭)	(H30年度) 3,400	2,100	1,600
東臼杵地域	①森林資源情報の高度化と再生林の推進 ②原木の安定供給及び効率的な加工・流通体制の整備 ③安定した林業経営と中山間地域の振興に必要な担い手の確保・育成	①再生林面積(ha)	(906) 870	912	912
		②製材品出荷量(千m ³)	(R元年) 350	340	340
		③乾しいたけ生産量(t)	211	242	254
西臼杵地域	①再生林対策による持続可能な林業の確立 ②森林経営管理制度を有効利用した森林管理 ③林業担い手の確保・育成 ④魅力ある地域資源を活用した西臼杵の活性化	①再生林面積(ha)	(163) 169	171	171
		②経営管理権の設定累計面積(ha)	0	15	30
		③新規林業就業者数(人)	(16) 10	15	15
		④乾しいたけ生産量(t)	121	134	141

※再生林面積と新規林業就業者数の()書きは直近3か年の平均値



区 分	単位	数 量	全国 順位	備 考 (出 典 等)
総土地面積	ha	773,534	14	地域森林計画(令和元年度) 全国順位(平成28年度)
森林面積	ha (%)	585,770 (76)	13 10	
国有林面積	ha	177,722	11	
民有林面積	ha	408,048	15	
民有人工林面積	ha (%)	232,110 (57)	7 13	
森林蓄積	千m ³	192,823	6	
国有林蓄積	千m ³	51,118	7	
民有林蓄積	千m ³	141,706	7	
民有人工林蓄積	千m ³	112,326	4	
林内路網密度	m/ha	38.7	3	宮崎県調べ(令和元年度)
高性能林業機械	台	773	2	林野庁林業機械保有状況調査(令和元年度)
素材生産量	千m ³	1,999	2	農林水産省統計木材統計(令和元年)
スギ素材生産量	千m ³	1,854	1	//
製材品出荷量	千m ³	955	2	//
再造林面積	ha	2,134	-	宮崎県調べ(令和元年度)
再造林率	%	75	-	//
乾しいたけ生産量	t	422	2	林野庁特用林産基礎資料(令和元年)
生しいたけ生産量	t	3,101	7	//
木炭生産量	t	263	7	//
林業就業者数	人	2,222	2	国勢調査(平成27年)
森林組合数	組合	8	-	宮崎県の森林組合(令和元年度)
林業産出額	億円	291	4	農林水産省統計(平成30年)



宮崎県環境森林部環境森林課

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号 7号館2階
TEL.0985-26-7152 FAX.0985-26-7311
ホームページアドレス <http://www.pref.miyazaki.lg.jp>